

(2) 河川工事の目的、種類及び施行の場所

優先的に整備する河川について工事の目的、種類及び施行の場所は以下による。

なお、河道の改修による整備にあたっては、将来、治水安全度を向上させる際に、手戻り等が生じないように十分配慮する。

① 葛下川

i 整備方針

【環境・景観】河川の整備を行う際は、地域住民の意見を聴きながら川沿いの環境に調和した整備を行う。また、植生や水生生物等の生息環境は多様性が確保されていることから、河川の整備を行う際は、みお筋の形成や水際の植生の回復に努める。水質については環境基準を満たしていないため、今後も水質改善に努め生物の生息環境を保全しながら、地域とともに河川美化啓発活動等を推進し河川環境の改善に努める。

【利用・利水】川沿いに整備した親水公園については、関係自治体や地域住民と連携し適切な維持管理と利用促進を図る。また、取水施設や取水量の把握に努め、継続的に水質や水量の把握に努める。

【治水】香芝市下田東地内の現況河道は、密集市街地を大きく蛇行しながら流れており現位置における改修が困難であるため、現在事業中の五位堂駅前北第二土地区画整理事業と連携を図りながらバイパス水路の開削による整備を図る。

熊谷川合流点より上流の区間については治水安全度を上げるため、香芝市別所までの区間について河道改修を計画的かつ段階的に進める。

また、下流部の王寺跨線橋付近（王寺町葛下地内）で流下能力が不足している区間があるため、河道の拡幅を行い必要な河川断面を確保する。

ii 河川工事の目的

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨の洪水を安全に流下させるとともに生物の生息環境を保全し、川沿いの土地利用に配慮した良好な水辺のオープンスペースを提供する。

iii 河川工事の種類

概ね現況の河道法線をもとに河道断面の拡大（河道拡幅・河床掘削）を行う。なお、香芝市の下田東地内では現在事業中の五位堂駅前北第二土地区画整理事業と連携し、バイパス水路の開削による整備を行う。

また、王寺町葛下地内の王寺跨線橋付近では、流下能力を確保するため河道の拡幅を行う。

iv 河川工事の施行の場所

王寺町葛下地内

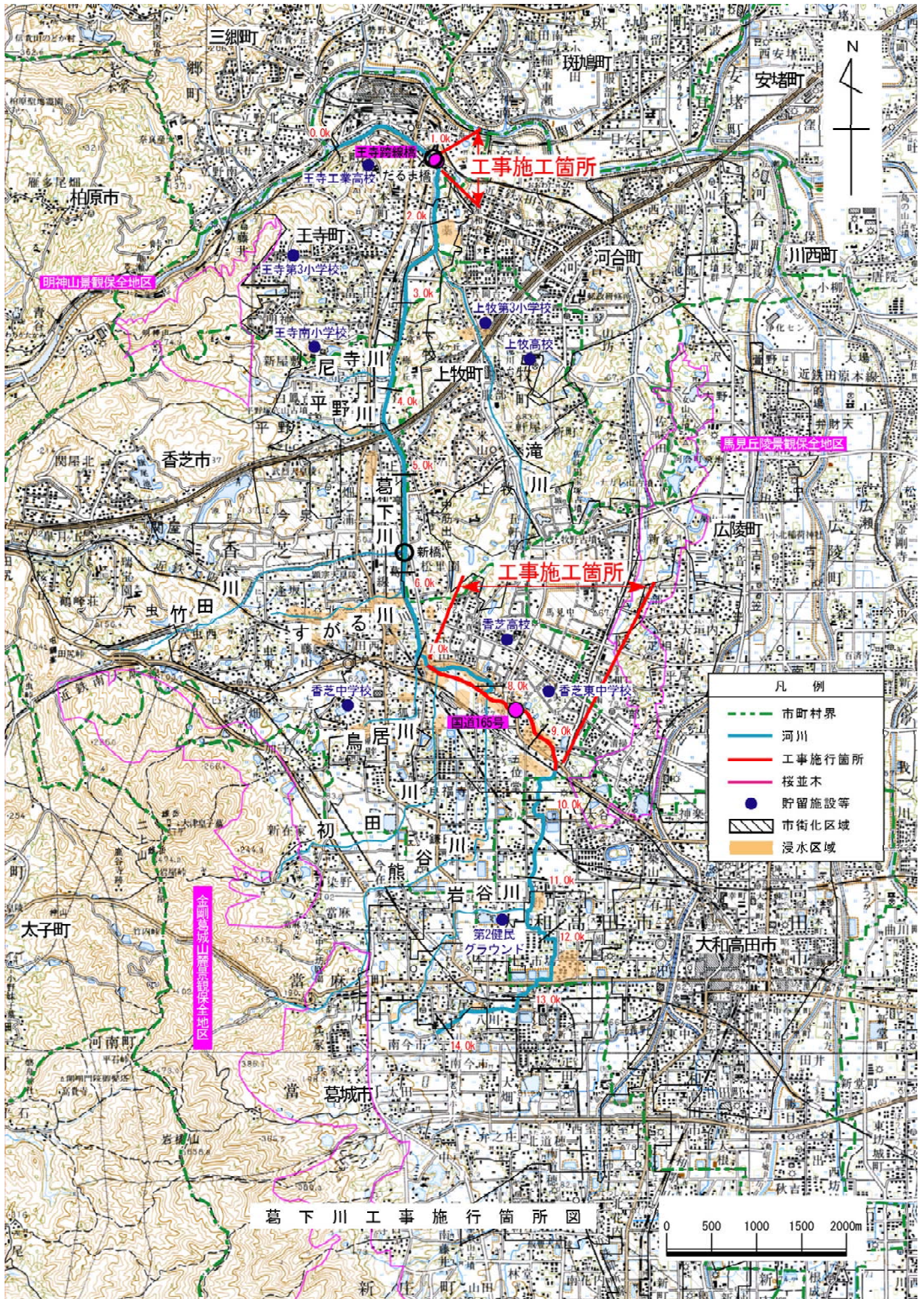
（JR和歌山線付近から王寺跨線橋上流までの約200m 河道拡幅）

香芝市下田東地内から香芝市別所地内

（下田橋から近鉄大阪線までの約2,400m 河道拡幅・河床掘削・バイパス水路の開削）

施行区間内の主な既存工作物

橋 梁	1 3 橋
取 水 堰	— 基



※浸水区域は、過去の主要洪水による浸水実績を重ね合わせたものです。